和歌山県に連続大水害

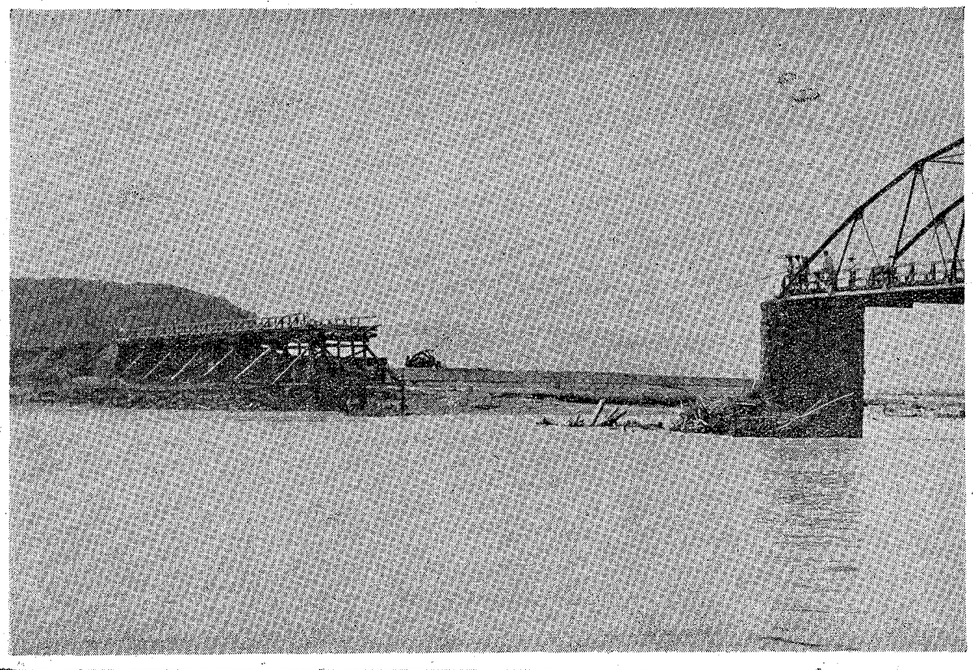
被害六〇億に達す

復興途上の本県に大打撃

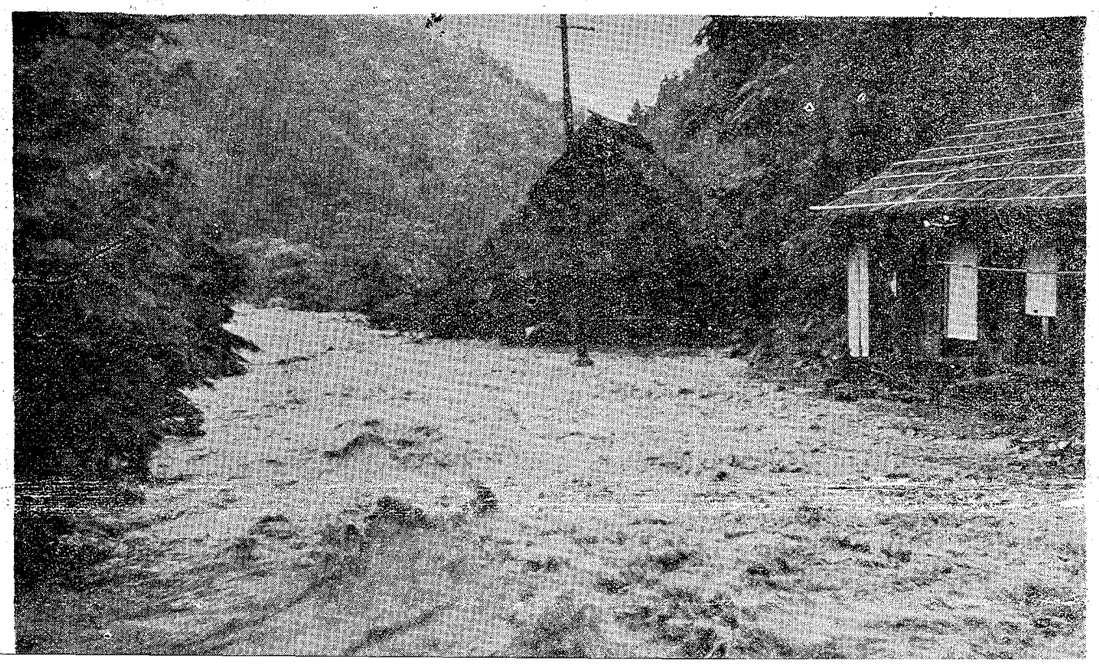
六月二十二日夜半、発達した低気圧が、紀伊半島海端に上陸、このため紀南地方は激甚な暴風雨に見舞われ、東牟婁郡下に甚大な被害を与えた。さらに引きつゞき九月二十九日夜半から県下全域にわたり降り出した雨は、三十日未明より驚異的な豪雨となり、紀の川を初めとして、有田川、日高川の各河川は急激に増水氾濫、昨夏の大災害の痛手未だ癒えやらぬ県下各地は、再び水魔に襲われ、住家の損壊、橋梁の流失、堤防道路の決潰、耕地、農作物、交通通信施設など、意想外に甚大な被害をこうむり、凄惨な姿を現出した。

なお交通、通信網の被害のため、被害の全貌は未だ明らかでないが、現在までに判明した被害額は、別表のとおりで、総額五九億八千万円に達している。

なお調査の進捗に伴い更に増大の見込みである。



昨年の大洪水に耐えた高島橋も遂に流失（那賀郡調月村）



被害額　(単位千円)　(7月1日7時現在)

区分	6月22日災	6月30日災	合計
耕地関係	272,024	1,920,000	2,192,024
土木関係	198,070	991,400	1,189,470
林業関係	204,340	299,345	503,685
農業関係	63,382	620,793	684,175
畜産関係	5,452	22,994	28,446
開拓関係	913	422	1,335
水産関係	47,920	13,460	61,380
商工関係	5,860	220,400	226,260
公共建物その他	8,190	7,582	15,772
文教関係	3,256	11,133	14,389
一般住宅	60,330	1,003,540	1,063,870
その他屠場		100	100
合計	869,737	5,111,169	5,980,906

死傷者　(7月2日5時現在)

区分	6.22日災	6.30日災	計
死者	14人	4人	18人
行方不明	1	4	5
重傷	1	6	7
軽傷	3	50	53
計	19人	64人	83人

家屋被害　(7月2日5時現在)

区分	6,22日災		6.30日災		計	
	罹災家屋	罹災者数	罹災家屋	罹災者数	罹災家屋	罹災者数
全壊	13戸	50人	64戸	306人	77戸	356人
流失	17	68	29	214	46	282

決壊した飯盛溜ダム（高さ…（那賀郡…

渦巻く濁流に洗…天野―九度山線…（伊…

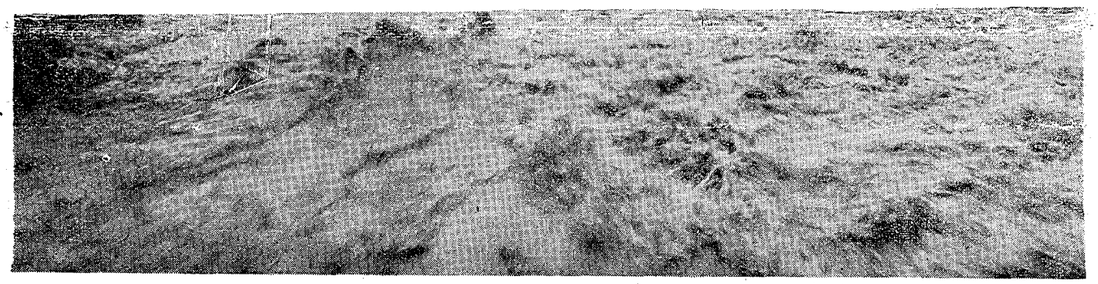
和歌山県六月水害写真特報第一報

発行所　和歌山市小松原通一丁目　和歌山県企画広報課
編集印刷　発行人　藤田定基
印刷所　和歌山県印刷所
毎月一日印刷発行
定価一部2円50銭

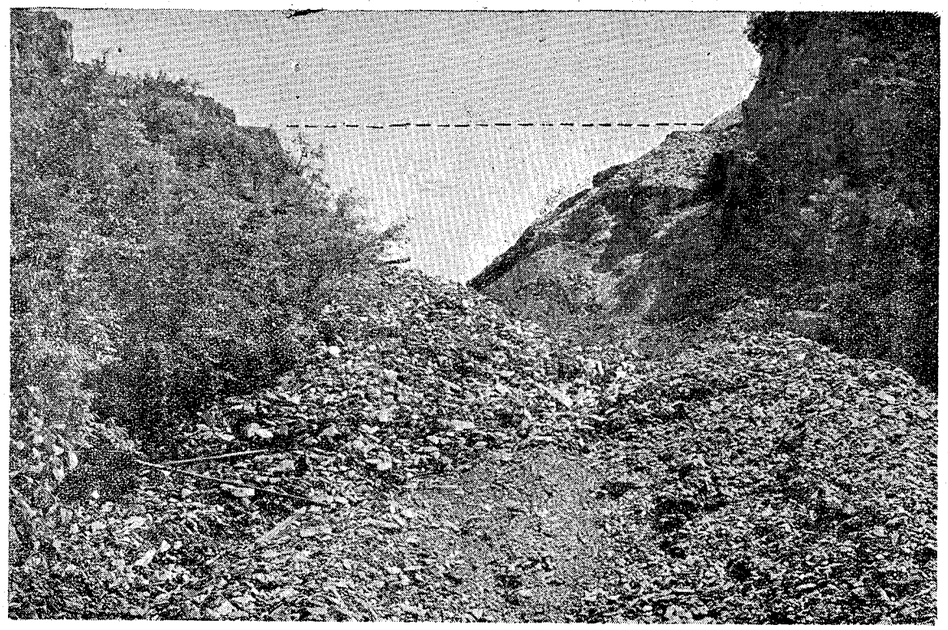
家屋被害

（7月2日6時現在）

区分	6,22日災 罹災家屋	6,22日災 罹災者数	6.30日災 罹災家屋	6.30日災 罹災者数	計 罹災家屋	計 罹災者数
全壊	13戸	50人	64戸	306人	77戸	356人
流失	17	68	29	214	46	282
半壊	48	199	159	756	207	955
床上浸水	970	4,617	4,485	19,663	5,455	24,280
床下浸水	2,169	10,033	24,163	98,736	26,332	108,769
計	3,217	14,967	28,900	119,675	32,117	134,642

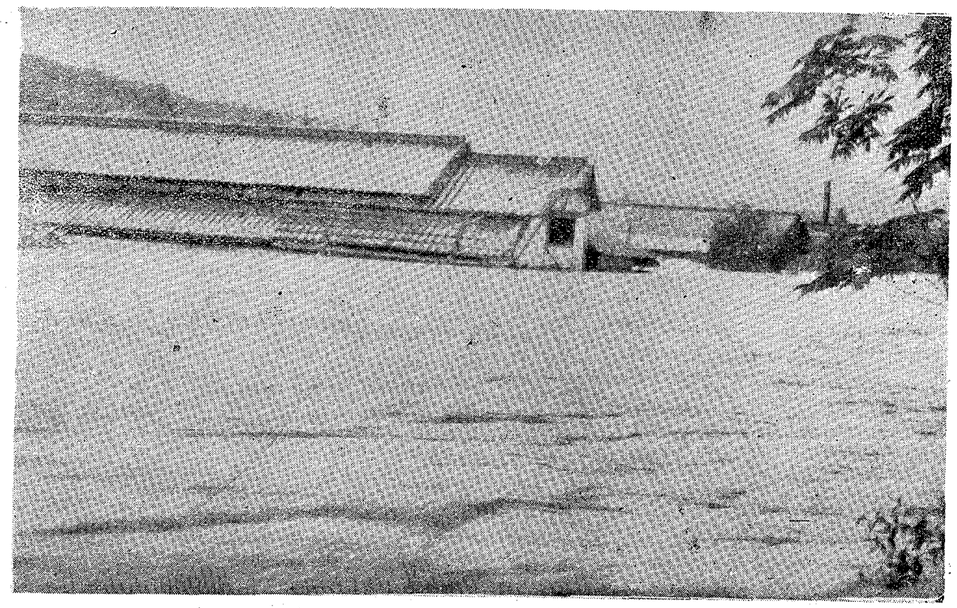


決壊した飯盛鉱山の廃土溜ダム（高さ一〇〇米）→（那賀郡麻生津村）

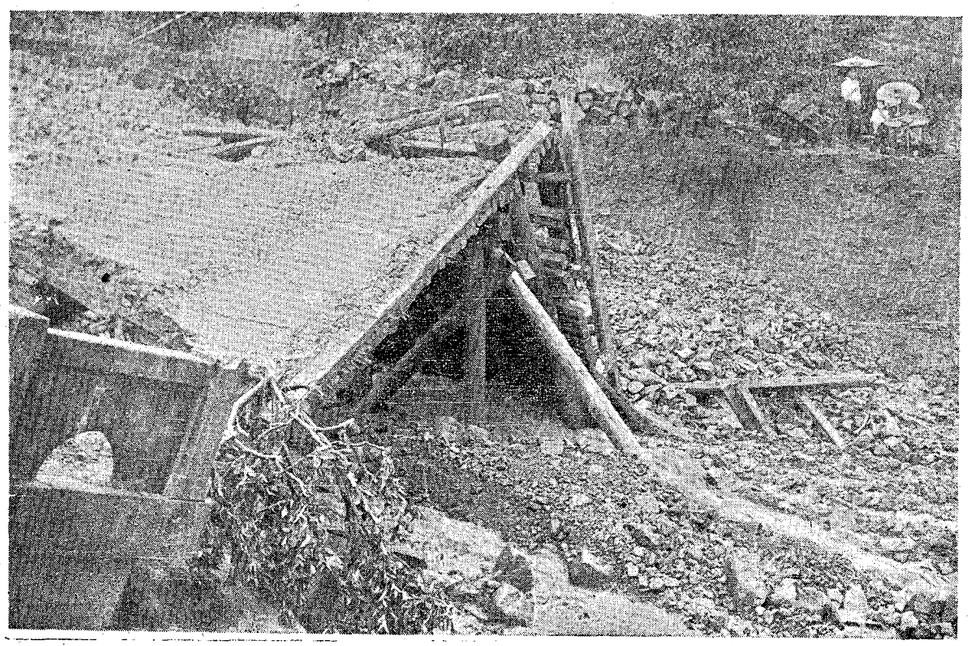


渦巻く濁流に洗われる県道天野—九度山線 ←（伊都郡天野村）

→ 土砂で埋つた谷川の水が民家の二階へ流れ込む（那賀郡麻生津村）

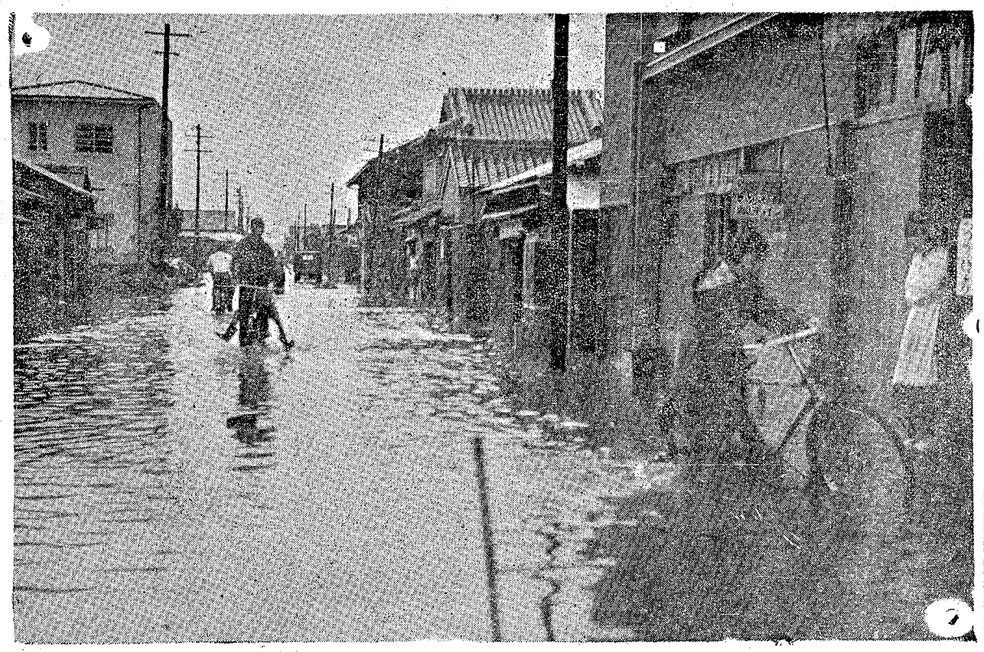


→ 軒下まで浸水した橋本町小原田の惨状

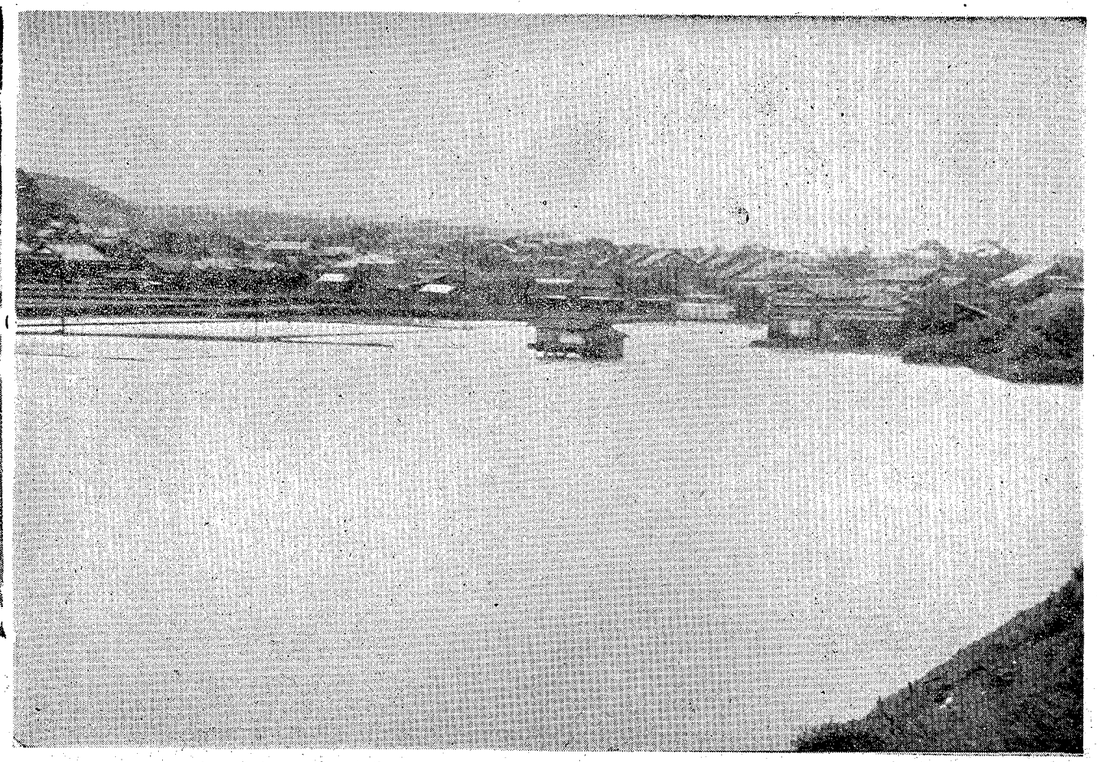


護岸は崩壊し橋はめちゃめちゃ ←（那賀郡上名手村）

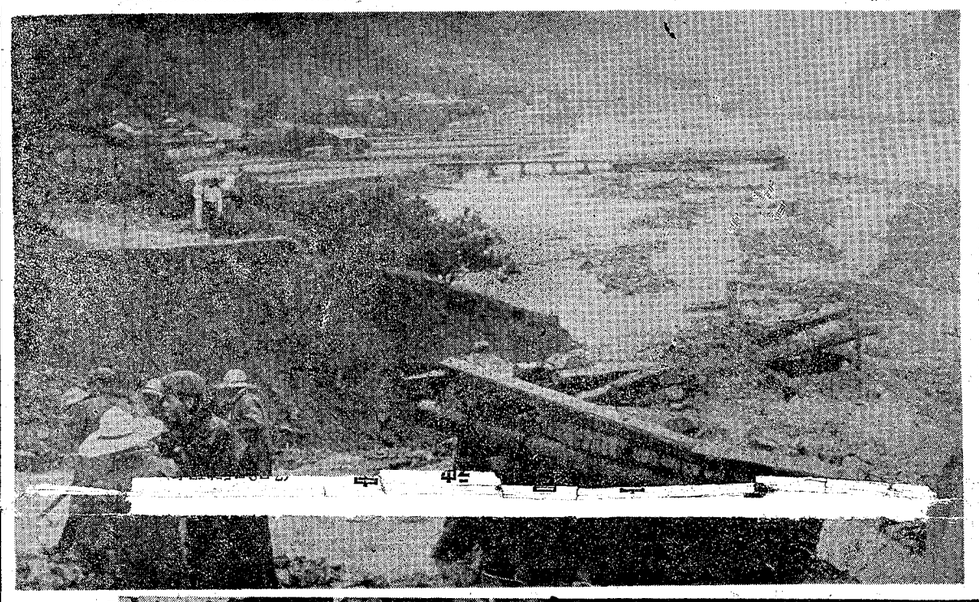
昨年の傷癒えざるにまた水魔狂う



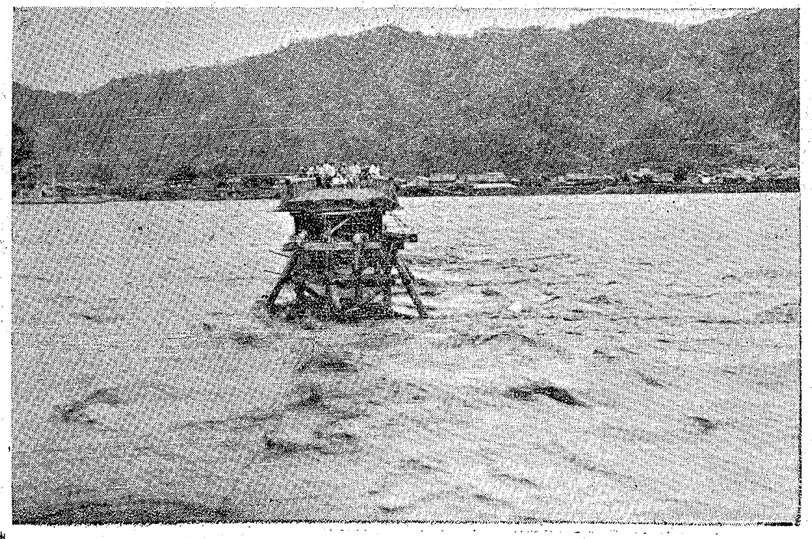
→ 漸く減水し始めた和歌山市田中町



↑ 水没した酪農の中心地伊都郡大谷村

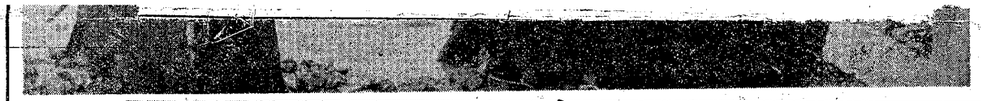


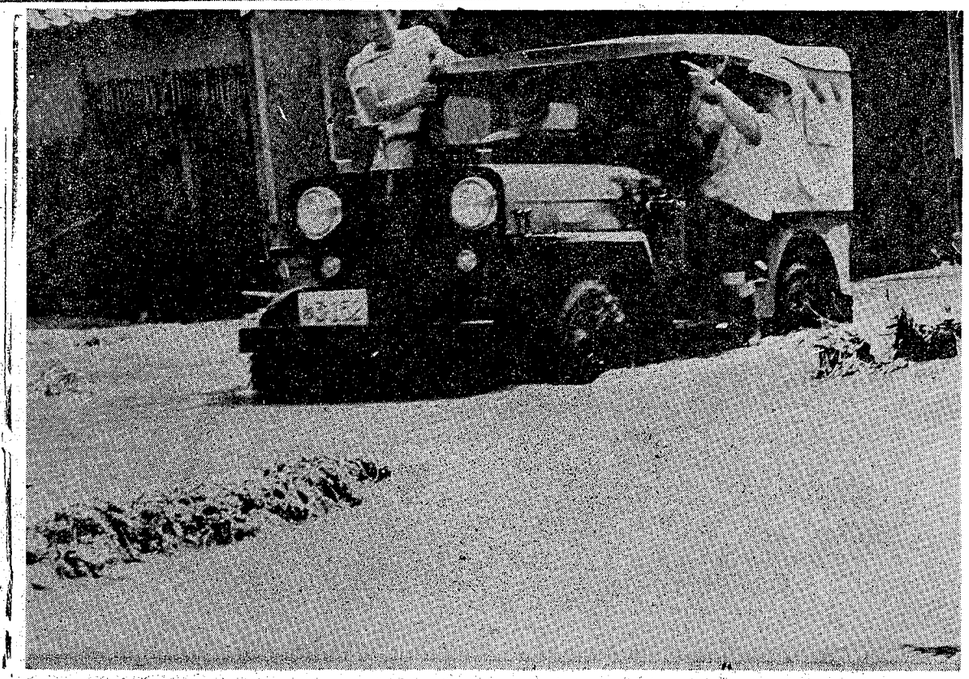
決潰した県道名手—父鬼線
← (伊都郡四郷村)



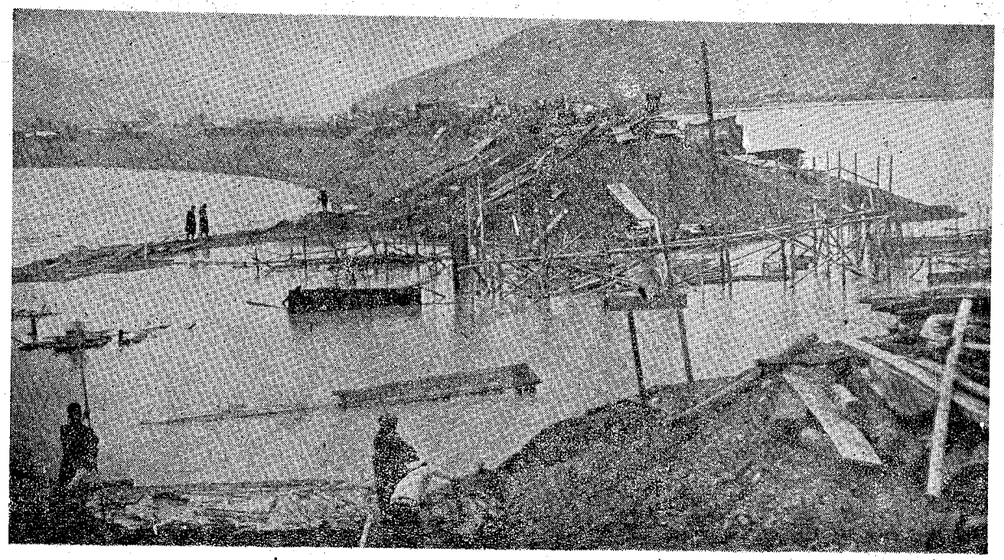
← 流失した宮原仮橋(有田郡宮原村)

→ 復旧途上の有田川堤



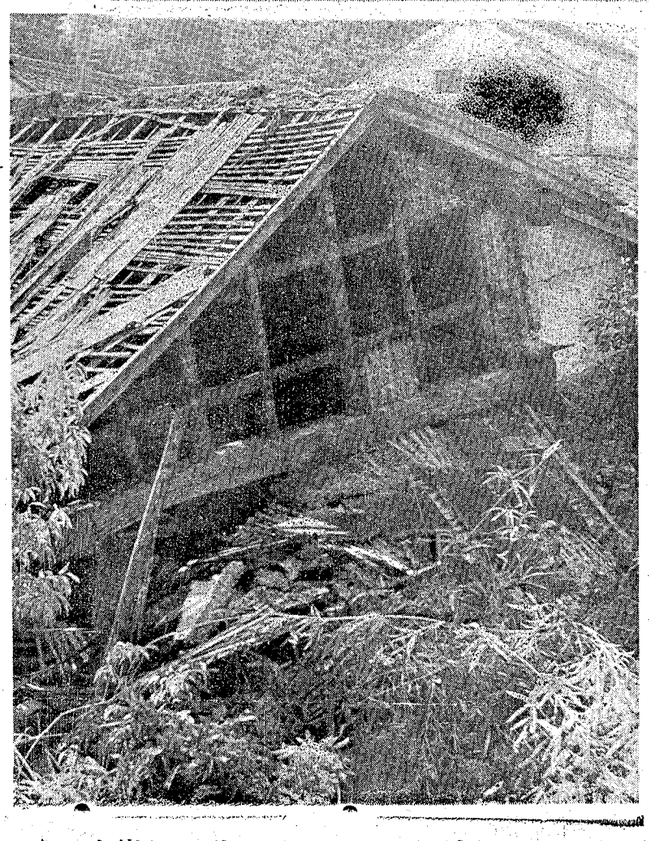


→ 濁水をゆくジープ（和歌山市三一）

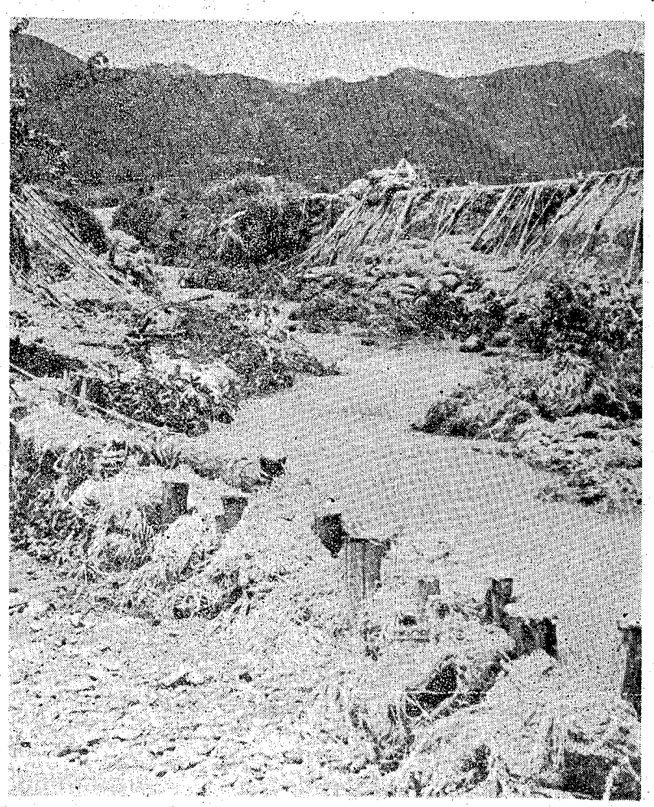


旧途上の有田川堤防附近の侵水（有田郡保田村）←

（有田郡宮原村）



↑ 山崩れの砂がなだれこみ倒壊した民家（那賀郡粉河町）



必死の水防作業も空しく決壊した鳴滝堤 ←

（海草郡）

↑ 災害現場を視察する小野知事（海草郡有功村）